

1. 基本情報 評価対象年度 (令和元年度)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------|-----------------------|------------|-----------|-------|-----|-----|-------|-------|-----------|-------|-------|--------|-------|---------|-------|-----------|-----|
| 施策コード | 531 | | 施策名 | 持続可能な財政運営 | | | | | | | | | | | | | | |
| 将来像 | 5 | 都市格が高いまち(「しくみづくり」の分野) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まちづくりの基本目標 | 53 | 健全な行財政の確立 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担当部署 | 企画部長 | | 主担当課 | 財政課 | | | | | 主担当係 | 財政係 | | | | | | | | |
| 担当者 | 今村 広司 | | 役職 | 企画部長 | | | | | 内線 | 210 | | | | | | | | |
| 関係課 | 企画課 | 秘書広報課 | 男女共同参画センター | 総務課 | 文書法制課 | 課税課 | 徴収課 | 保険年金課 | 産業振興課 | 地域包括ケア推進課 | 障害福祉課 | 高齢支援課 | 子育て支援課 | 道路交通課 | ごみ減量推進課 | 教育総務課 | 生涯学習スポーツ課 | 会計課 |

2. 施策の方向

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|--------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 10年後の姿 | 高齢化に伴う社会保障関係経費の増加をはじめ、老朽化した公共施設の大規模改修や多様化する市民ニーズへの対応などに柔軟に対応できる健全な財政運営が確立されています。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施策の方向性 | 1 | 市財政の根幹となる市税収入を確保します | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | 新しい財源を含め自主財源の拡充に努めます | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 | 施策や事務事業の見直しなどにより歳出を抑制します | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4 | 効率的かつ効果的な財政運営に努めていきます | | | | | | | | | | | | | | | | |

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

| No. | 事務事業名 | 実行計画 | 施策の方向性 | 担当課 | 平成30年度決算 | 令和元年度決算 | 令和2年度予算 |
|-------------|-----------------|------|--------|------------|----------|---------|---------|
| 0102010501 | 財政運営事業 | | 4 | 財政課 | 748 | 785 | 810 |
| 0102010704 | 公共施設整備基金積立事業 | | 4 | 財政課 | 427,335 | 332,989 | 300,000 |
| 0102010811 | まちづくり応援寄附事業 | | 2,4 | 財政課 | 4,785 | 2,846 | 5,954 |
| 0102011204 | 起業支援事業 | 対象 | 2 | 男女共同参画センター | 4,798 | 5,749 | 6,847 |
| 0102010304 | 固定資産評価審査委員会活動事業 | | 1 | 文書法制課 | 143 | 49 | 145 |
| 0102020202 | 市(都)民税一般事務事業 | | 1 | 課税課 | 18,520 | 22,307 | 19,117 |
| 0102020203 | 固定資産税賦課事業 | | 1 | 課税課 | 14,786 | 22,314 | 13,986 |
| 0102020204 | 軽自動車税賦課事業 | | 1 | 課税課 | 1,170 | 1,337 | 1,193 |
| 0102020304 | 徴収事業 | | 1 | 徴収課 | 31,822 | 29,161 | 34,006 |
| 0110010203 | 事務局一般事務事業 | | 4 | 教育総務課 | 58,610 | 115,706 | 5,581 |
| 0102010601 | 会計事務事業 | | 1 | 会計課 | 17,733 | 23,563 | 29,915 |
| 総事業費(施策の合計) | | | | | 580,450 | 556,806 | 417,554 |

4. まちづくり指標

| 指標情報 | | | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和4年度 | 令和7年度 | |
|------|------|-------------------------|------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 名称 | 経常収支比率 | | 目標値 | 92.1 | 92.7 | 93.1 | 93.0 | 92.0 |
| | 説明 | 経常一般財源に占める経常経費充当一般財源の割合 | 単位 % | 実績値 | 93.1 | 95.1 | | | |
| | 抽出方法 | 地方財政状況調査(決算統計) | | 達成率 | 98.9% | 97.5% | | | |
| ② | 名称 | 財政力指数(単年度) | | 目標値 | 0.690 | 0.690 | 0.690 | 0.700 | 0.710 |
| | 説明 | 基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値 | 単位 — | 実績値 | 0.682 | 0.677 | | | |
| | 抽出方法 | 普通交付税算定 | | 達成率 | 98.8% | 98.1% | | | |
| ③ | 名称 | 市税収納率(現年度) | | 目標値 | 99.2 | 99.2 | 99.2 | 99.2 | 99.3 |
| | 説明 | 調定額に対する収入額の割合 | 単位 % | 実績値 | 99.0 | 99.1 | | | |
| | 抽出方法 | 地方財政状況調査(決算統計) | | 達成率 | 99.8% | 99.9% | | | |

5. 評価(令和元年度実績に対する)

| 評価基準 | 評価※ | 評価理由 |
|---|-------------------------------------|--|
| 投入財源・成果 (「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価 | 総合評価 (成果、投入財源等を総合的に評価) 維持 | 公共施設整備基金については、当初予算を上回る積立を行い、新庁舎建設に係る財源とともに、将来の公共施設等の整備に向けて財源を確保することが出来た。また、まちづくり応援寄附金については、前年度を下回る寄附金額となり、十分な施策効果は生まれなかった。 一方、経常収支比率については、自立支援給付費などの扶助費の増加による経常経費が増額し、臨時財政対策債の減少などにより、経常一般財源が減額となることから、平成30年度の93.1%から2ポイント悪化の95.1%となった。 また、財政力指数については、固定資産税などの収入額が増加したものの、自立支援給付費等の社会福祉費の需要額増額の影響が大きく、平成30年度の0.682から0.677と0.005ポイントの悪化となった。 こうしたことを総合的に見て、施策目的については未だ達成されていないと判断した。 |

※順調「10年後の姿」達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の姿」達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の姿」達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

| 外部要因 | 状況 | 外部要因に対する評価 | 評価理由 |
|----------------|---|------------------------------|---|
| 市民ニーズの状況 | ライフスタイルの変化や情報化社会の進展などにより行政サービスに対する市民ニーズは多様化している。 | 3. 施策の必要性を高める | 多様化する市民ニーズに対応するためには財源が必要である。 |
| 将来人口の推移 | 高齢者人口が増加する一方生産年齢人口は減少する。 | 3. 施策の必要性を高める | 高齢化に伴い、扶助費の増加や介護保険、後期高齢者医療特別会計への一般会計負担が増えることが見込まれる一方、納税者の減少が見込まれる。 |
| 他自治体との比較 | 多摩26市の中では最も財政力指数が低い。 | 3. 施策の必要性を高める | 景気回復などにより指標が大きく改善する自治体がある中、本市は依然として低い水準で推移している。 |
| 民間企業・NPO・市民の動向 | ふるさと納税を行う市民や、ふるさと納税を取り扱うポータルサイト運営事業者が増加している。 | 1. 施策遂行に役立つ・有利 2. 施策遂行に不利 | ふるさと納税を取り扱う媒体が増えていることから、活用の仕方によっては寄附者が増える可能性もあるが、市民の他市へのふるさと納税制度を活用した寄附による市税の減収の影響の方が大きい。 |
| 法・制度改正の動向 | 地方交付税の総額確保が危ぶまれる。ふるさと納税の返礼割合の基準等が定められ、基準を満たしていない自治体は、指定されないなど制度が改正された。 | 1. 施策遂行に役立つ・有利 2. 施策遂行に不利 | 一部の返礼割合が高い自治体への寄附の集中が是正される。 |
| 技術革新の動向 | ふるさと納税について、インターネットによる申し込みや寄附金のクレジットカードによる納入が可能となった。収納管理を一元化するためのシステム導入により、収納率の向上が期待できる。 | 1. 施策遂行に役立つ・有利 | 市税の増減に影響を与える。 |
| その他 | 新型コロナウイルス感染症が拡大している。 | 2. 施策遂行に不利 3. 施策の必要性を高める | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経済活動が縮小し、税収の大幅な減少が見込まれ、財政運営が非常に厳しくなることが予測される。 |

7. 施策を進める上での課題

| | | | |
|---------------|---|--|--|
| 施策を進める上での課題 | 収納率の向上については、市財政の根幹となる市税収入を確保するとともに、地方交付税の算定に用いられるため、戦略的に行う必要がある。 | | |
| ① 関連する事務事業名 | 徴収事業 | | |
| 現在の取組状況 | コンビニ収納やキャッシュカードを利用した口座振替登録システムを導入するなど納税環境の整備を図っているほか、滞納管理の強化に向けて検討を進めている。令和2年に基幹系システムのクラウド化において、取滞納一元管理に向けた取滞納システムの調達準備を進めている。また、令和3年度に向けて介護保険料や保育料等の料金のコンビニ収納に向けた準備を進めている。 | | |
| 令和3年度以降の取組 | 引き続き納税環境の拡充・拡大を図るとともに、自主財源の確保と負担の公平性を保つため、厳正な滞納整理を行っていく。次期基幹系システムでは税及び料について一元的に滞納整理が可能となるため、効果的な収納率向上が見込まれるシステムの運用方法や組織体制を構築する。 | | |
| ② 施策を進める上での課題 | 受益者負担の適正化を図る。(消費税率引き上げに伴う使用料等の見直しを含む) | | |
| 関連する事務事業名 | 国民健康保険事業特別会計繰入金 | | |
| 現在の取組状況 | 消費税率引き上げに伴い、消費税率を正しく転嫁するべく、公共施設使用料等の見直しの検討を適宜進めている。令和2年度よりごみ処理手数料の適正化を図る。国民健康保険事業特別会計における多額の赤字繰入を解消するための計画策定に伴い、保険税の見直しの協議を進めている。 | | |
| 令和3年度以降の取組 | 新庁舎駐車場のほか、各公共施設駐車場の有料化を検討する。赤字繰入を解消するため、公費負担の拡充や低所得者対策などを国に対して要望していく一方で、一般会計の負担状況、被保険者の保険税の負担状況等を勘案しながら、計画的に保険税の見直しを図るなど、財政の健全化に努めていく。 | | |

| | | | | |
|---|-------------|--|------|--|
| ③ | 施策を進める上での課題 | 包括管理契約の導入や公共施設再編に伴う民間委託化を進め、更なる行財政改革を進める必要がある。 | | |
| | 関連する事務事業名 | 計画行財政推進事業 | | |
| | 現在の取組状況 | 小学校給食調理業務の民間委託化や、ごみ収集業務の一部委託化を進めている。 | | |
| | 令和3年度以降の取組 | 費用対効果を見極めたうえで民間委託化できる事業を検討する。 | | |
| ④ | 施策を進める上での課題 | 清瀬市のまちづくりの方向性に沿った事業所の誘致や事業創出により税収増加につなげる必要がある。 | | |
| | 関連する事務事業名 | 商工会等育成事業 | 融資事業 | |
| | 現在の取組状況 | 策定した商工振興計画に基づき施策を展開している。 | | |
| | 令和3年度以降の取組 | 商店街振興に繋がる補助事業創設並び融資事業の拡充を検討する。 | | |